



ドーム内で輝くきれいな菊の数々

11月5日 5回 **ズラリと並んだ 大輪の花**

渥美半島菊花大会がサンテパルクたはらで開催されました。出展された約600鉢の作品は、10月24日(火)~11月5日(日)の期間、サンテドームに展示され、訪れた人々の目を楽しませていました。なお、30日(月)に行われた審査会で決定した主な入賞者は次のとおりです。(敬称略) 内閣総理大臣賞 = 鬼頭喜重(西山町) 農林水産大臣賞 = 永田日出夫(夕陽が浜) 愛知県知事賞 = 河合敏行(和地町)・小石利枝(高松町)・加子八重子(加治町)



伊勢湾口道路早期実現に向けてプレーボール!

10月28日 29回 **心をつなごう 半島をつなぐために**

早期建設が期待されている伊勢湾口道路。整備されれば田原市と三重県鳥羽市が結ばれることとなります。その実現を願い、第1回田原市長杯少年野球交流大会を開催しました。滝頭公園野球場など市内4会場を舞台に熱戦を繰り広げたのは、田原市と伊勢・志摩地域のスポーツ少年団併せて16チーム。選手たちは優勝を目指すと同時に、渥美半島と志摩半島を結ぶ“夢の橋”の完成を願い、お互いの友情を深めました。



1本1本丁寧に。だんごを焼くときも介護の心は忘れません!

10月20日 21回 **提供します 福祉・文化のサービスを**

田原福祉専門学校の学園祭・たっぷく祭が、同校を会場に開催されました。模擬店やゲームなど学園祭定番の催しはもちろん、手浴・点字体験など“たっぷく”ならではの催しも大々的に行われ、両日ともに多くの人でにぎわいました。「地域とのつながり」や「福祉文化の創造」を目指す田原福祉専門学校の学生たちにとって、来場者とのふれあいやすべての催しを手づくりで行ったことは、たいへんためになったようです。



多くの作品や芸能が披露されました

11月3日 5回 **主役はわたし 多才な市民の発表会**

田原市文化祭(田原市文化協会主催)が、田原文化会館や渥美文化会館などを中心に開催されました。まず訪れた人たちの目を楽しませたのは、各会場での展覧会。大小さまざまな力作が所狭しと並び、会場を彩りました。芸能大会では、自慢の歌や踊りなどを披露する発表者に、多くの声援が送られていました。このほか、池ノ原会館や渥美文化会館のロビーでは市民茶会も行われ、日本の文化を味わおうという人たちでにぎわいました。